

長期予報研究連絡会主催

研究会「長期予報と大気大循環」

○テーマ：熱帯海洋変動と大気循環～新たな展開～

○期日：2008年10月2日(木) 13時15分～17時

○場所：気象庁3023会議室（中庭3号庁舎2階）

★プログラム（各題とも発表時間30分）

- ① 夏季におけるインド洋の対流活動と大規模循環場との関係についての予備調査・・・原田やよい（気象庁・気候情報課）
- ② インド洋 SST が日本の天候に与える影響について・・・平原翔二・後藤敦史（気象庁・気候情報課）
- ③ エルニーニョ予測モデルによる東アジアの夏の予測～1月末初期値の夏（JJA）の予測～・・・成瀬由紀子、高谷祐平、佐藤均、新保明彦、前田修平（気象庁・気候情報課）、安田珠幾（気象研究所・気候研究部）
- ④ アジアモンスーンを介したインド洋・太平洋の大気海洋相互作用・・・大庭雅道（筑波大学・陸域環境研究センター）、植田宏昭（筑波大学・生命環境科学研究科）
（休憩）
- ⑤ PNA パターンの成長・励起メカニズム：MJO-PNA コヒーレンス・・・森 正人、渡部雅浩（東京大学・気候システム研究センター）
- ⑥ MJO が PNA パターンの予測可能性に及ぼす影響・・・向川 均（京都大学・防災研究所）・林 麻利子（京都大学・院理；現松江地方气象台）
- ⑦ 全球非静力学モデルを用いた 2006 年 12 月実験における MJO 再現性評価・・・谷口 博（地球環境フロンティア研究センター/JAMSTEC）

※問合せ先：磯部英彦（気象庁気候情報課、E-mail：h_isobe@met.kishou.go.jp）